

平成29年度一般会計決算見込みは 答弁Ⅱ実質収支額は 約1億3000万円の黒字



森田 ちづこ 議員

国は地方と国のプライマリーバランスを平成32年度までに黒字にするとしている。地方のプライマリーバランスは改善されたが、国の借金は増えるばかりであるが、町はどうか。健全財政か。

池田町長

町のプライマリーバランスを試算すると、平成18年度から平成25年度までは黒字であるが平成26年度は庁舎建設に伴う地方債発行の増加で6億5000万円の赤字。平成27・28年度は黒字に転じたが、平成29年度は伊野

小学校改築、仁淀消防組合負担金、小中学校の空調整備などに対する地方債発行額の増加などで約12億円の赤字見込みである。

財政の健全性は一定保たれていると認識しているが、大型建設事業などの集中的な発注により地方債残高は増加傾向になっているので、今後発行を抑制していく必要がある。

今後も事業の取捨選択を行い、真に必要な施策にのみ予算が配分されるよう健全な財政運営に努めていく。

今後、真に必要な施策にのみ予算が配分されるよう健全な財政運営に努めていく。

天王地区の環境整備

森田議員

街路樹の樹木を伐採したが、今後の対応は。せせらぎ通りに水を流せないか。

水田土木課長

天王ニュータウンの「緑

あふれ、心にやすらぎを与えてくれる通り道」を継承するため、低木などを計画的に植樹していく。せせらぎ通りは流水を中

止してから長い年月がたっているため、今後の取り扱いについては、関係機関と協議を行っていく。

暮らしに直結する水道料金

質問Ⅱ大幅な値上げにならない検討を
答弁Ⅱ経営審議会の最重要審議事項だ

森田議員

水道事業は合併より伊野地区は水道会計、吾北・本川地区は簡易水道会計で運営され、平成29年度に統合された。給水戸数と人口を

問う。

吾北、本川地区の簡易水道会計には、多額の法定外繰り入れがなされていた。審議会に水道料金の諮問もなされるのか。

上水道給水地区と給水人口

地区	給水区内人口	給水人口	普及率
伊野	20,438人	19,236人	94.1%
吾北	2,289人	1,548人	67.6%
本川	480人	395人	82.3%
全体	23,207人	21,179人	91.3%

上記以外の生活用水確保は

打ち込み井戸・谷水などの自家水源・地区で管理している飲料水供給施設・共同生活用水から確保している。

未普及地域の生活用水確保事業

- ・給水戸数3戸以上
県中山間地域生活支援総合事業
- ・給水戸数2戸以上
町小規模水道施設費補助金

尾崎上下水道課長

審議会では現在の経営状況や将来の見通し、料金改定の考え方なども説明する。水道料は町民の生活も考え、次世代に安心安全な水を受け継いでいくためにも、今後検討が必要となる最重要事項である。

吾北、本川簡易水道会計への一般会計より繰り入れ金額（基準外）

平成25年度	97,089千円
平成26年度	90,035千円
平成27年度	73,345千円
平成28年度	80,396千円
平成29年度	32,740千円

(統合されたいの上水道会計)

その他の質問

- 準公金の取り扱いについて。
- 高齢者向けの、町営住宅は建設できないか。